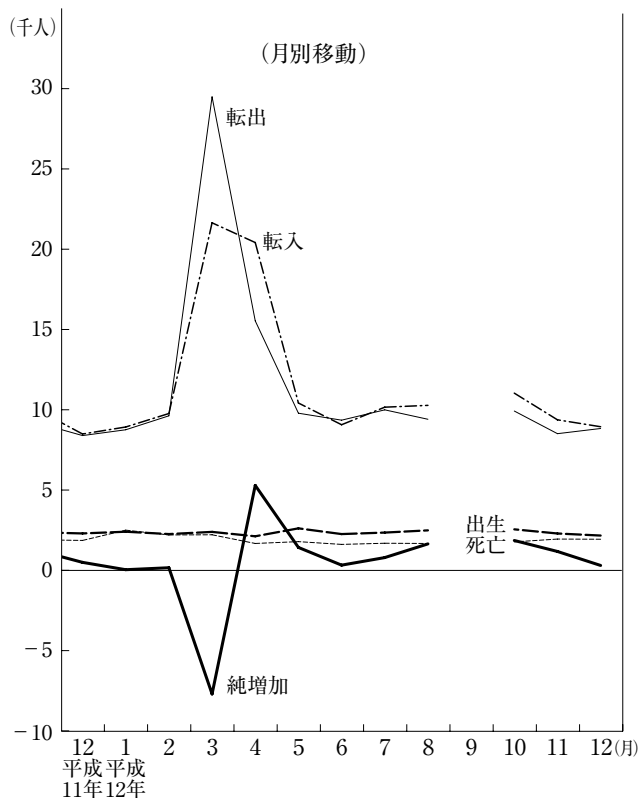


今月の主な動き

人 口



■人口 (13年1月1日)

12月の概況

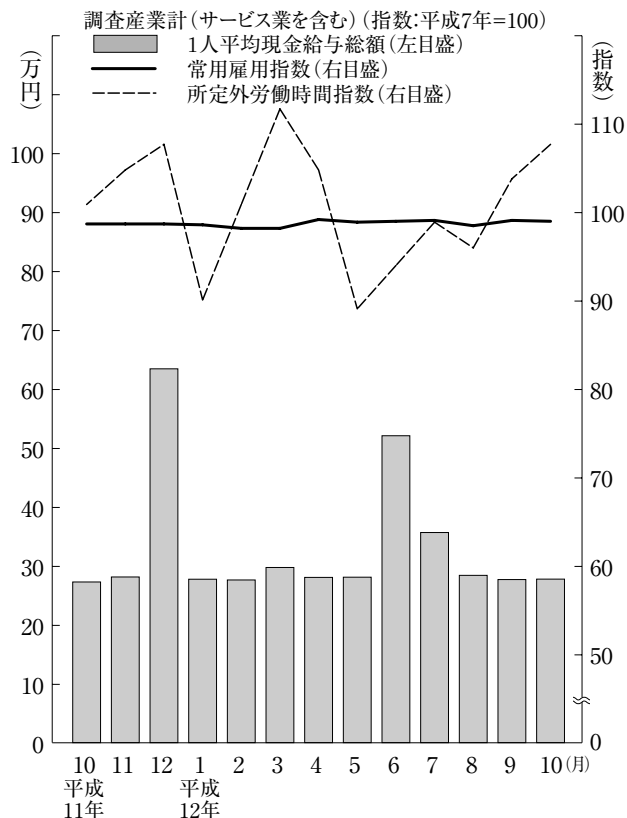
本県の人口は、12月中に339人増加し、1月1日現在で**2,988,868人**(男1,489,514人, 女1,499,354人)となった。

内訳は、自然動態で、230人(出生2,202人, 死亡1,972人)増加し、社会動態で、109人(転入8,979人, 転出8,870人)増加した。前年同月と比べると13,133人(-0.4%)の減少である。

市町村別では、増加が9市34町村, 減少が10市30町村, 増減なしが1市1町である。

世帯数についても12月中に811世帯増加し、**989,028世帯**となった。

賃金・労働時間・雇用



■賃金・労働時間・雇用 (12年10月)

1. 平均賃金の推移

10月の現金給与総額は、調査産業計で、**277,417円**, 対前年同月比1.8%増であった。現金給与総額のうち、きまって支給する給与は272,497円, 対前年同月比0.8%増であった。特別に支払われた給与は、4,920円であった。

2. 労働時間

10月の総実労働時間は、調査産業計で、**157.0時間**, 対前年同月比0.8%増であった。総実労働時間のうち、所定内労働時間は146.0時間, 対前年同月比0.4%増であった。所定外労働時間は11.0時間, 対前年同月比6.7%増であった。

3. 雇用の動き

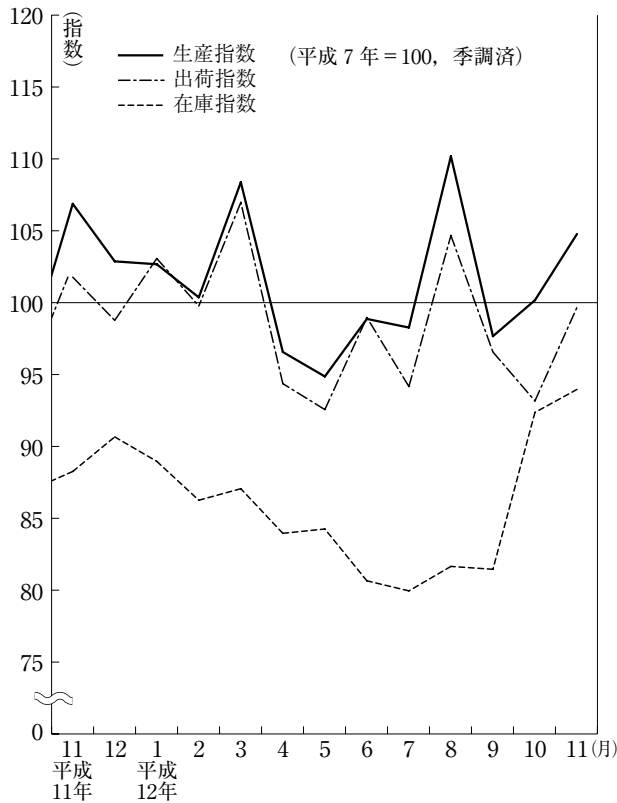
10月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.3%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

●今月の主な動き ●

鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉

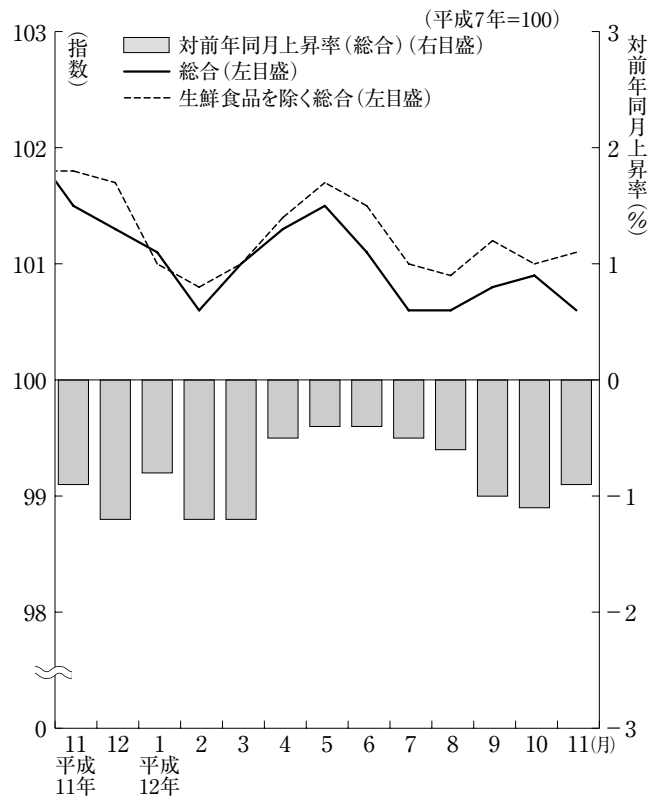


■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(12年11月)

本県における平成12年11月の“鉱工業指数”(平成7年=100)は、季節調整済指数で生産が**104.7**、出荷が**99.6**、在庫が**93.9**であった。

- 1 生産の前月比は4.6%の上昇、前年同月比は△1.9%の低下であった。業種別に前月比をみると、電気機械工業、鉱業、非鉄金属工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、食料品・たばこ工業、精密機械工業等が低下した。財別にみると、資本財、耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財が低下した。
- 2 出荷の前月比は7.0%の上昇、前年同月比は△2.2%の低下であった。業種別に前月比をみると、一般機械工業、鉄鋼業、電気機械工業等が上昇し、プラスチック製品工業、鉱業、食料品・たばこ工業等が低下した。財別にみると、資本財、鉱工業用生産財が上昇し、非耐久消費財が低下した。
- 3 在庫の前月比は1.7%の上昇、前年同月比は6.4%の上昇であった。業種別に前月比をみると、鉱業、プラスチック製品工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、石油・石炭製品工業等が低下した。財別にみると、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、建設財が低下した。

消費者物価指数



■消費者物価指数(12年11月)

平成12年11月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で**100.6**(平成7年=100)となり、対前月比は(-)0.3%下落し、対前年同月比も(-)0.9%の下落となった。

今月の上がった主な項目…洋服1.2%、

教養娯楽用品0.5%

今月の下がった主な項目…生鮮果物(-)10.1%、

生鮮野菜(-)9.1%

生鮮食品を除く総合は101.1となり、対前月比は(+)
0.1%上昇し、対前年同月比は(-)0.7%の下落となった。

■費目別指数

(平成7年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	100.6	△0.3	△0.9	保健医療	111.3	△0.1	0.0
食 料	99.5	△1.0	△2.0	交通通信	97.2	0.0	△0.2
住 居	101.8	0.0	0.0	教 育	109.1	0.0	0.7
光熱・水道	101.7	0.2	0.5	教養娯楽	98.1	0.1	△0.1
家具・家事用品	92.4	△0.6	△3.5	諸 雑 費	102.5	0.1	0.1
被服及び履物	104.8	0.7	△3.5	生鮮食品を除く総合	101.1	0.1	△0.7